



平成26年10月14日

各 位

上場会社名 東日本ハウス株式会社
 代表者 代表取締役社長 成田 和幸
 (コード番号 1873)
 問合せ先責任者 常務取締役 名取 弘文
 (TEL 03-5215-9905)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、25年12月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,500	6,400	5,900	5,000	109.01
今回修正予想(B)	53,100	4,400	4,100	3,900	85.03
増減額(B-A)	△7,400	△2,000	△1,800	△1,100	
増減率(%)	△12.2	△31.3	△30.5	△22.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	56,397	5,508	5,026	4,633	101.00

平成26年10月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,500	5,800	5,400	4,700	102.47
今回修正予想(B)	46,300	4,500	4,200	4,000	87.21
増減額(B-A)	△6,200	△1,300	△1,200	△700	
増減率(%)	△11.8	△22.4	△22.2	△14.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年10月期)	48,646	5,095	4,692	4,470	97.46

修正の理由

連結業績予想につきましては、住宅事業における消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減による新規請負工事の受注減少及び建売の伸び悩み、ホテル事業におけるリゾートホテルの宿泊客数の減少及びシティホテルの宴会及びレストラン需要の減少等により、売上高が前回予想を下回る見込みであります。

売上高の減少を原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減により補うべく努力いたしましたが、営業利益、経常利益及び当期純利益とも、前回予想を下回る見込みであります。

個別業績予想につきましても、連結業績予想同様、新規請負工事の受注減少等により、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも、前回予想を下回る見込みであります。

来期の業績予想につきましては現在作成中ですが、消費税増税前の駆け込み需要が期待されるものの、期首の受注残高が減少する見込みであるため、売上高は連結・個別ともに当期予想を下回る見込みであります。しかしながら、施工方法、使用部材並びに流通経路の見直しによる原価低減や、支店管理体制の見直しに伴う管理部門の合理化による販売費及び一般管理費の削減等により、当期予想を上回る営業利益、経常利益及び当期純利益を目指しております。

なお、期末配当予想につきましては従来予想(1株当たり10円)から変更ありません。

(注)本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上